PAT-NO:

JP405233547A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05233547 A

TITLE:

TRANSACTION INFLOW CONTROLLER

PUBN-DATE:

September 10, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KIGAMI, KATSUNORI

HATANO, HIROSHI

MITOMI, NORIHISA

YAMADA, YUTAKA

KURODA, HIROSHI

TAKANO, NAOYA

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

NEC CORE

N/A

NIIGATA NIPPON DENKI SOFTWARE KK N/A

APPL-NO: JP04032497

APPL-DATE: February 20, 1992

INT-CL (IPC): G06F015/00

ABSTRACT:

PURPOSE: "o decrease the cases where a terminal operator is kept whiling at the front of terminals owing to the deterioration of the terminal response by giving the information to the transmitter of the transaction data to interrupt the transmission of this data when the queue length of the data waiting for the transaction processing exceeds the largest queue length set previously.

CONSTITUTION: A detecting part 361 of a queue length detection means 36 reads a queue length storing file 35, and an informing part of the means 36 informs a transaction inflow controller 2 of the queue length. This queue length is compared with the largest queue length. If the former length is larger than the latter one, a discriminating part 25 discriminates that the start of the transaction processing is delayed. Meanwhile a message transmission part 27 sends the information to a terminal computer 1 to show that the transaction data were not received. When this information is received by a reception part 12 of the computer 1, an output means 13 outputs the contents of the information to an output device 14.

COPYRIGHT: (C) 1993, JPO& Japio

(19)日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A) (11)特許出願公開番号

特開平5-233547

(43)公開日 平成5年(1993)9月10日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号 庁内整理番号

FΙ

技術表示箇所

G 0 6 F 15/00

320 K 7459-5L

審査請求 未請求 請求項の数2(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-32497

(22)出願日

平成 4 年(1992) 2 月20日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(71)出願人 390003045

新潟日本電気ソフトウェア株式会社

新潟県新潟市万代 4丁目 4番27号

(72)発明者 木上 勝則

東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式

会社内

(72)発明者 波多野 寛

新潟県新潟市万代四丁目 4番27号新潟日本

電気ソフトウェア株式会社内

(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

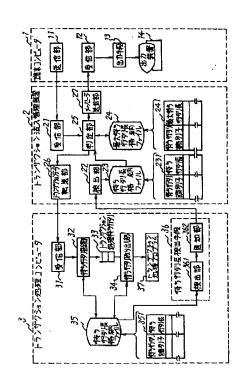
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 トランザクション流入管理装置

(57)【要約】

【目的】 オンラインシステムを構成するコンピュータ システムのオンライン処理データが処理能力以上に集中 して投入された場合、データ処理の遅延のために端末オ ペレータがデータの投入から結果の出力までの間待ち続 けることを防ぐ。

【構成】 オンラインシステムを構成するコンピュータ が端末からのデータ受信時、該当データ処理の処理待ち 行列長を検出し、予め設定した待ち行列長よりも長い場 合には、受信データを処理待ち行列には登録せずに、端 末オペレータに対し処理待ちが大きくなるためデータ処 理は実行しない旨の通知を返送する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 オンライントザクション処理システムに おいて、トランザクションデータの受信手段と、受信手 段により受信したトランザクションデータをトランザク ション処理コンピュータに転送する転送手段と、前記ト ランザクション処理コンプータのトランザクション処理 待ち行列長を検出する検出手段と、あらかじめ設定され た最大待ち行列長と前記待ち行列長を比較する判定手段 と、前記判定手段の判定に基づいて前記トランザクショ ン処理コンピュータの繁忙状況を示すメッセージをトラ ンザクションデータの送信元に送信する送信手段とを有 することを特徴とするトランザクション流入管理装置。

【請求項2】 請求項1記載のトランザクンション流入 管理装置において、トランザクション処理待ちデータの 待ち行列長があらかじめ設定された最大待ち行列長を超 えたとき、トランザクションデータの送信元に前記トラ ンザクションデータの送信を中断させることを特徴とす るトランザクション流入管理装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明はオンライントランザクシ ョン処理システムを構成するコンピュータシステムにお けるトランザクション流入管理装置に関する。

【従来の技術】従来、オンラインシステムを構成するコ ンピュータシステムでは、トランザクションデータ受信 後、トランザクションデータは無条件にトランザクショ ン処理実行待ちの待ち行列に登録される。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】上述した従来のトラン ザクション処理システムでは、コンピュータシステムが 単位時間あたりに処理可能なトランザクション件数以上 のトランザクションデータがコンピュータシステムに流 入した場合には、トランザクション処理待ち行列に登録 されるトランザクションデータの件数が前記待ち行列に トランザクションデータが滞留し、その結果、トランザ クションデータ受信からトランザクション処理実行開始 までの時間が間延びするという問題点がある。また、こ れにより端末オペレータが、端末の打鍵によるトランザ クションデータの送信から結果の出力までの間、端末の 40 前で長時間待機しなければならないという欠点がある。

[0004]

【課題を解決するための手段】本発明のトランザクショ ン流入管理装置は、オンライントザクション処理システ ムにおいて、トランザクションデータの受信手段と、受 信手段により受信したトランザクションデータをトラン ザクション処理コンピュータに転送する転送手段と、前 記トランザクション処理コンプータのトランザクション 処理待ち行列長を検出する検出手段と、あらかじめ設定 された最大待ち行列長と前記待ち行列長を比較する判定 50 行列登録部32はトランザクション処理待ち行列33に

手段と、前記判定手段の判定に基づいて前記トランザク ション処理コンピュータの繁忙状況を示すメッセージを トランザクションデータの送信元に送信する送信手段と を有する。

【0005】また、本発明のトランザクンション流入管 理装置において、トランザクション処理待ちデータの待 ち行列長があらかじめ設定された最大待ち行列長を超え たとき、トランザクションデータの送信元に前記トラン ザクションデータの送信を中断させるようにして構成さ 10 れている。

[0006]

【実施例】次に、本発明について図面を参照して説明す

【0007】図1は本発明の一実施例を示す説明図であ る。

【0008】端末コンピュータ1は送信部11,受信部 12、出力手段13、出力装置14を有している。

【0009】トランザクション流入管理装置 2は受信部 21,検出部22,待ち行列長格納ファイル23,最大 20 待ち行列長格納ファイル24,判定部25,トランザク ションデータ転送部26、メッセージ送信部27を有し ている。待ち行列長格納ファイル23は待ち行列識別名 が格納されており、同じ待ち行列識別名を持った行列の 待ち行列の待ち行列長231が格納される。また、最大 待ち行列長格納ファイル24は待ち行列識別名に対応す る最大待ち行列長241が予め格納されている。

【0010】トランザクション処理コンピュータ3は受 信部31、待ち行列登録部32、複数のトランザクショ ン処理待ち行列のうちの一つのトランザクション処理待 30 ち行列33、待ち行列取り出し部34、待ち行列長格納 ファイル35, 待ち行列長検出手段36, 複数のトラン ザクション処理プログラムのうちの一つのトランザクシ ョン処理プログラム37を有する。待ち行列長格納ファ イル35は待ち行列識別名と待ち行列長351が格納さ れている。待ち行列長検出手段36は検出部361,通 知部362で構成される。

【0011】端末コンピュータ1の送信手段11がトラ ンザクションデータを送信し、トランザクション処理コ ンピュータ2の受信手段21が前記トランザクションデ ータを受信すると、判定部25は待ち行列長格納ファイ ル23と最大待ち行列長格納ファイル24を読み込み、 待ち行列長格納ファイル23の待ち行列長と最大待ち行 列長ファイル24の最大待ち行列長を比較する。

【0012】前記待ち行列長が前記最大待ち行列長以下 の場合にはトランザクションデータをトランザクション データ転送部26に渡し、トランザクション処理コンピ ュータ3にトランザクンションデータを転送する。

【0013】トランザクション処理コンピュータ3の受 信部31がトランザクションデータを受信すると、待ち

3

トランザクションデータを登録すると同時に、待ち行列 長格納ファイル35の待ち行列長351にトランザクシ ョンデータ1件分の値を加算する。

【0014】待ち行列取り出し部34は、トランザクシ ョン処理待ち行列33からトランザクションデータを取 り出すと同時に、前記待ち行列長格納ファイル35の待 ち行列長351からトランザクションデータ1件分の値 を減算し、トランザクション処理プログラム37にトラ ンザクションデータを渡す。

【0015】待ち行列長検出手段36の検出部361は 10 いう効果がある。 待ち行列長格納ファイル35を読み込み、通知部362 は待ち行列長をトランザクション流入管理装置2に対し て通知する。

【0016】前述の待ち行列長と最大待ち行列長の比較 において、待ち行列長が最大待ち行列長よりも大きい場 合には、判定部25はトランザクション処理の開始が遅 延すると判断し、メッセージ送信部27は前記端末コン ピュータ1に対してトランザクンションデータは受け付 けられなかった旨の通知(この場合「暫くお待ち下さ い」)を送信する。

【0017】端末コンピュータ1の受信部12が前記通 知を受信すると、出力手段13は出力装置14に通知内 容(「暫くお待ち下さい」)を出力する。

[0018]

4

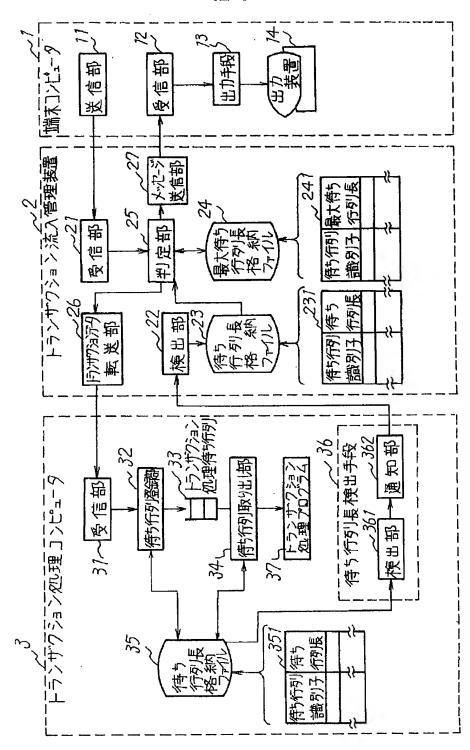
【発明の効果】以上説明したように本発明は、オンライ ンシステムを構成するホストコンピュータの処理待ち行 列の滞留によりトランザクション処理開始が遅延するよ うな状況となった場合には、即座にその状況をトランザ クション入力端末に通知することにより、端末オペレー タが端末レスポンスの悪化により端末の前で待機し続け ることを減らすことができる効果がある。また、これに より、端末オペレータの精神的ストレスを減らす効果、 及び端末の前での待機時間の減少による作業効率向上と

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す説明図。 【符号の説明】

- 端末コンピュータ 1
- トランザクション流入管理装置
- トランザクション処理コンピュータ 3
- 21 受信部
- 22 検出部
- 23 待ち行列長格納ファイル
- 20 24 最大待ち行列長格納ファイル
 - 25 判定部
 - 26 トランザクションデータ転送部
 - 27 メッセージ送信部

【図1】



フロントページの続き

(72)発明者 三富 範久 新潟県新潟市万代四丁目4番27号新潟日本 電気ソフトウェア株式会社内

(72)発明者 山田 豊 新潟県新潟市万代四丁目4番27号新潟日本 電気ソフトウェア株式会社内 (72) 発明者 黒田 弘志 新潟県新潟市万代四丁目4番27号新潟日本 電気ソフトウェア株式会社内

(72) 発明者 高野 直哉 新潟県新潟市万代四丁目4番27号新潟日本 電気ソフトウェア株式会社内